



様式第4号（第7条関係）

令和4年8月4日

東かがわ市議会議長
井上 弘志 様

東かがわ市議会議員
建設経済常任委員会
委員長 久米 潤子

行政視察等報告書

1	日時	令和4年7月21日(木)から令和4年7月22日(金)	
2	参加者	橋本守、田中貞男、田中久司、朝川弘規、久米潤子	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		下水処理のあり方について	福岡県香春町
		下水処理のあり方について	大分県由布市
4	研修・調査内容	令和4年7月21日(木)13:30～15:30 福岡県香春町 市町村設置型浄化槽整備推進事業（PFI）について 別紙参照	
		令和4年7月22日(金)9:30～11:30 大分県由布市 公共下水道（狭間処理区）事業中止、生活排水について 別紙参照	
5	研修成果	別紙参照 (感想・今後の取り組み等)	
6	費用	460,590 円	

※領収書（交通費・宿泊費の明細が分かるもの）、研修資料を添付してください。

香春町

市町村設置型浄化槽整備推進事業（PFI）について

香春町は、課題となっていた金辺川の水質を改善するため、補助金制度で浄化槽設置を進めるとすると、年 30 基しか設置できず、目標の 3,500 基を設置するには、100 年かかることから、全国初の PFI を利用した浄化槽市町村整備事業を実施した。

PFI を選択した理由は、職員不足と、個人設置事業より整備期間の短縮が望め、経費的に有利だったため。

PFI の効果としては、民間活力及び手続き期間の短縮により、短期間に多くの浄化槽が整備でき、町汚水処理人口率も約 11.8%（H14）から 72.5%（R3）に上昇した。

PFI 事業終了後の浄化槽整備基数は、横ばい状態だが現在は、定住支援の政策として事業を継続している。

分担金

人槽区分	5 人槽	7 人槽	10 人槽
分担金	80,000 円	92,000 円	116,000 円

使用料

人槽区分	5 人槽	7 人槽	10 人槽
月額使用料（税込）	5,010 円	5,640 円	6,640 円

※7 人槽、10 人槽を使用している方の世帯人員が 2 人以下の場合は使用料を、一つ下の人槽使用料とする。

単独浄化槽転換補助

人槽区分	5 人槽	7 人槽	10 人槽
補助限度額	260,000 円	280,000 円	300,000 円

その他、合併浄化槽転換にかかる配管費補助 1 軒あたり 50,000 円や、利子補給制度がある。

市町村設置型（PFI）を検討する際に必要なことは、設置基数推移計画を立て、事業終了後の維持管理計画、財政計画を事前に見据えることが重要とのことであった。

由布市

公共下水道（狭間処理区）事業中止について

由布市は、2005年に、3町（狭間町・庄内町・湯布院町）が合併した。公共下水道事業は実施されており、すでに5億6千万円、全体の4.6%が実施されていたが、合併翌年より、町財政の悪化により下水道事業を中止したいとし、公共下水道事業の再検討を行った。

- ① 系統の見直し・縮小エリア等を設定（29パターン）
- ② 集合（下水道）と個別（浄化槽）の経済比較
- ③ 費用対効果分析
- ④ 財政シミュレーション

上記のデータから、

◎下水道事業は、長期的には収支バランスが取れる事業であるが、汚水処理場・管路を先行的に整備しなければならないので初期の財政負担が大きくなり財政状況の悪化軽減を図る歳出の抑制策が必要。

◎地方交付税の合併算定替による減少・地方税収減

◎少子高齢化等の進行による社会福祉費の増 を導き出し、社会情勢の変化に対応する健全な財政運営をすべく、公共下水道事業を中止することとした。

由布市は、人口が合併時とほぼ同じ、少子高齢化の時代にまれな自治体である。狭間地区が大分市へのアクセスが非常に良く、人口はプラス3,000人、多くの若者が家を建てて住み始めていることが人口減少に歯止めをかけている。公共下水道を中止したので財政が安定していることから、高校生まで医療費を無料としていることも移住の原因となっている。

しかしながら、近年の豪雨により下水道を整備していないため、内水氾濫が度々起こっている。今後は、一級河川への流れ込みを利用した流域治水における国の補助事業を用いて内水氾濫への対応を検討しているとのことであった。

生活排水について

農業集落排水施設

狭間に2つ、庄内に1つの農業集落排水施設がある。施設の大規模改修については、令和2年度に最適整備構想を策定し40年間の修繕計画を立てた。この資料をもとに大規模改修を検討する。

今後狭間の2つを統合させた方が経済的に有効である、との報告があった。財政面との兼ね合いを含め検討する必要がある。

合併浄化槽・集中浄化槽（市管理のものではなく、地域管理で10位ある）
浄化槽設置整備事業補助金

人槽	5人槽	7人槽	10人槽
新築	221,000円	276,000円	365,000円
汲み取り・単独からの設置替え	532,000円	614,000円	748,000円

※単独浄化槽から合併浄化槽への設置替えを行う場合は、下記費用を限度に追加補助。

単独処理浄化槽の撤去工事費 90,000円

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換による宅内配管工事費 300,000円

今後の方向性

- ◎農業集落排水事業については、大規模改修の検討を行い修繕費用の削減を目指す。
- ◎合併処理浄化槽については、「浄化槽設置整備事業補助金」を継続して行い、単独浄化槽・汲み取り槽からの設置替えの推進を行うとのことであった。

香春町、由布市ともに「考えながら動き、動きながら考える。」という方針。

事業開始前に十二分に調べた数値データと、過去の経験値をもとに、柔軟でしなやかな、かつ冷静な判断を適時行なっている。その根幹にあるものは、今いる住民と、未来の住民のために最善の決断をする強い信念であった。

よって、現在も決断を下した事業に、気候変動から新たに寄せられる住民からの困りごとに対し、国の補助を見つけるなど、懸命に取り組まれていた。

本市においても、今後、事業実施前の計画においては、環境面・人口減少問題・財政面をもとにあらゆる方法について詳細調査することに加えて、気候変動や災害についても想定の上、数値データを出した上で、協議をスタートする必要があると考える。老朽化したから、計画していたから、進行しているからと、過去の決め事に流されることなく、時に応じた決断をしてまいりたい。